

【日之影町立日之影小学校】

事業の実施時期：補助を受けた日から 令和5年 2月 22日

活動の概要

各教科を横断しながら、総合的な学習の時間を軸に、環境に対する思考力や判断力を身につけた児童の育成を目指した。家庭や地域と連携しながら、ふるさと日之影のために、環境に働きかける実践力等、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を目指した。20年以上続く花いっぱい活動や、地域の方々と共に環境学習に取り組むことで、家庭、地域と一緒に学びを深め、意欲的に発信していった。

SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう

1 学校の概要

日之影小学校は、岩井川小学校として明治9年に設立された。その後、統廃合を重ね、明治26年に現在の日之影小学校として設立された歴史ある学校である。

西臼杵郡の最南端に位置し、児童を取り巻く自然環境は素晴らしく、緑いっぱいの山林や、清く澄み切った溪流がある自然豊かな場所にある。本校児童は、およそ南北30km、東西8kmの広域に30近くの小さな地区に散在している。全校児童29名で、複式学級を有する学校である。

20年以上続く花いっぱい活動やゆず栽培、五ヶ瀬川での学習を通して環境教育を行ってきた。

2 活動のねらい

児童がこれまで行ってきた学習を、4RとSDGsの観点から価値付けを行いながら学びを進めることで、環境に対する思考力や判断力を身に付けた児童の育成を目指す。さらに、家庭や地域と連携しながら、ふるさと日之影のために、環境に働きかける実践力や、持続可能な社会を構築していくための資質・能力を育成する。

3 活動内容

(1) 花いっぱい活動

① 「ありがとうの種」配布

児童会で、今まで行ってきた活動をもっと広げ発信するために、「ありがとうの種」と命名し、これまで自分たちの生まれ育ってきた町の自然を残して下さってありがとうという感謝の気持ちを込めて、地域の方々に配布した。種の袋詰めや手紙は全校児童と保護者で協力して行った。



② 花の苗配布

20年以上続いてきた活動。自分たちで種から育てた花の苗を、商工会女性部と協力して各家庭に配布して環境の大切さを呼びかけた。



【4R：リユース SDGs③⑧⑪⑮】

(2) 手作り絵はがき

毎年全校で、給食の牛乳パックで葉書を作成し、絵手紙コンクールへ出品し、環境について学んでおり、今年も実施した。



【4R：リサイクル SDGs ⑫⑮】

(3) ビーチクリーン

PTA 主催のサーフィン教室や秋の遠足でのビーチクリーン活動を行った。



【4R：リデュース SDGs ⑥⑪⑫⑭⑰】

(4) 地域との環境学習

① 五ヶ瀬川の自然を守る合同学習会

西臼杵漁協の支部長さんに来ていただき、環境に関する講話を行った。全校児童と地域の方も参加しての合同学習会となった。その後、低・中・高に分かれて学習会を行った。



② EM 発酵液づくり



クリーン帯山・氷川町作り会（熊本）と商工会女性部と1・2年生が、EM 発酵液を作成。

③ ペットボトルで風車作り



3・4年生は、まんてんおやじの会とペットボトルで、害虫よけの風車を作成。

④ 壊れた傘でエコバッグ作り



5・6年生は、神影公民館女性部の方々と壊れた傘でエコバッグ作りを行った。

⑤ EM 発酵液をプールへ投入



1・2年生は、EM 発酵液を、保護者と一緒に約 500L ほどプールに投入した。

【4R：リフューズ・リユース・リサイクル SDGs ⑥⑦⑪⑫⑬⑭⑮】

(5) 地域との連携

① 体育の服をリサイクル

卒業生等の家庭に呼びかけ、使わなくなった体育の服を回収し、リサイクルしている。



② アルミ缶回収

地域にアルミ缶回収を呼びかけ、朝のボランティアの時間に分別作業を行っている。



【4R：リユース・リサイクル SDGs ⑪⑫⑬】

4 成果と課題

- 地域のためから始まった活動が地球のためになることに気づき、自分にできることを考え、行動に移そうとする児童の姿が見られ始めた。
- 家庭や地域との連携を通して、ふるさと日之影の環境に働きかけ、持続可能な社会を構築していこうという、より広い視野での学習のまとめをし、様々な場面で様々な手段を用いて発信することができた。
- 持続可能な社会を構築していくためにも、今後も SDGs の視点を持ち、4 R 活動を実践できる児童の育成を目指した教育活動を展開していく必要がある。

学校名：日之影町立日之影小学校

住所：西臼杵郡日之影町大字岩井川 3665

電話番号：0982-87-2679

E-mail：1820ea@miyazaki-c.ed.jp